

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月09日(火)

事務事業		常備消防施設維持管理事業			担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	50311	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	消防力の整備指針				
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。									
目的 ※何のために		市民が安全・安心に暮らせるため。									
対象 ※誰・何を対象に		消防施設									
手段 ※どのように		法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。									
成果 ※何を求めるか		災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。									
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）									
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔消防総務課〕	71,959,099	
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔建築住宅課〕	7,590,000	
本事業の 主な業務		・ 庁舎、駐車場の許可						・ 庁舎光熱費、通信費の管理			
		・ 会議室の管理						・ 不用物品の処分			
		・ EMS関係書類の作成、報告						・ 寄付受納調整			
		・ 庁舎維持、保守、保守点検						・ 物品の賃貸借契約			
		・ 物品の購入契約、管理						・ 火の見櫓に関する調整			
		・ 行政財産の使用許可と調整						・			

2. 事業費(投入コスト) ※令和7年度は決算見込み額です。 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		消防本部空調設備更新工事 旧川本分署解体工事	消防本部庁舎免震装置塗装改修工事 花園消防署発電機始動用蓄電池修繕	消防本部温水ヒーター設計業務委託	電気設備・浄化槽・衛生環境・空調機保守・庁舎等修繕 消防本部温水ヒーター更新工事		
事業費	予算(現額)	157,841,000	74,093,000	77,178,000	83,148,000	97,452,000	
	決算額	137,014,258	65,933,431	70,328,814	79,549,099	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	35,332,274	34,299,084	46,231,890	29,904,000
		一般財源	137,014,258	30,601,157	36,029,730	33,317,209	67,548,000
人件費	従事職員数(人)	0.80	0.80	1.30	1.12	1.12	
	人件費相当試算※	6,295,646	6,408,132	10,688,914	9,494,346	9,865,508	
	総事業費試算	143,309,904	72,341,563	81,017,728	89,043,445	107,317,508	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	施設修繕件数	目標値	件							
		実績値		25.00	40.00	30.00	35.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	常時稼働施設数	目標値	箇所	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		実績値		8.00	8.00	8.00	8.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 3	施設稼働日数	目標値	日	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	
		実績値		2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		常時災害に対応するため、8施設の稼働すべき日数を目標値としている。 / 1年365日							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防活動拠点として各消防施設を適切に維持管理するため、所属職員により日常的に点検、清掃等を行っている。また、7月（毎年同時期に実施）には、各施設について建築基準法に準じて建物調査を行い、令和7年建物調査表を作成した。その調査表を基に、施設担当係として、各消防施設の老朽化等による損耗程度を把握することができ、修繕を2件（消防庁舎排煙窓、指令課休憩室流し台）行う事ができた。さらには、突発的に発生した施設の不具合についても、優先順位等を考慮して修繕を行うことができ消防施設の稼働を滞ることなく維持することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保することで、各種災害に支障無く対応することができた。
			評価者 消防総務課 施設係 五十嵐 宏幸

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	消防活動拠点の修繕について、従来は紙で提出を行っていたが電子申請（グラファ）に変更したことにより、ペーパーレス化及び提出に要する時間の節約になった。その結果、消耗品費の削減や修繕箇所の早期把握することができ、業務の効率化につなげた。
			評価者 消防総務課 施設係 五十嵐 宏幸